



さかた

令和6年2月1日

# 市議会だより

第78号



飛澤神社奴振り(飛澤神社例大祭)

## 12月定例会

物価高騰対策低所得世帯支援  
給付金給付事業ほか、物価高騰  
による負担軽減の補助金など  
による補正予算を可決

ホームページはこちらから

酒田市議会

検索



## 目次

12月定例会の概要、代表質疑、各委員会審査、討論	P2～3
12月定例会審議結果一覧	P4
一般質問/17人が登壇	P5～10
議会改革推進特別委員会、議会活動日誌、 議員連盟の役員改選	P11
令和5年の主な活動状況	P12
議会改革[通年議会]	P13
3月定例会の開催予定、傍聴案内、編集後記	P14

# 12月定例会

令和5年12月7日～12月20日  
会議期間14日間

## 審議された議案等

### 市長提出案件

29件

### 請願

1件

令和5年度一般会計補正予算（第8号）をはじめ、右記議案などを審議しました。議案は、各常任委員会、予算特別委員会の審査を経て本会議で採決が行われた結果、可決されました。請願1件は不採択となりました。

## 代表

## 質疑

市長提出議案に対する質疑では、12月11日、12月20日にそれぞれ各党派等の代表1人が行いました。質疑と答弁の要旨は次のとおりです。

※12月11日代表質疑を中段、12月20日代表質疑を下段に掲載しております。

共産党  
市議団



周 齋藤 議員

12月11日代表質疑



12月20日代表質疑



### 体育施設、教育施設廃止後の対策は

**問** 酒田市体育館は、ハザードマップの浸水区域にあり耐震改修もされていないが、廃止後はどのような対策をしていくのか伺う。

**答 市長** 耐震性が低く老朽化が著しいため、ほかの公の施設への転用は困難な状況である。今後の利活用のあり方については、解体を念頭に置き、一時的あるいは暫定的な利用、例えば倉庫など、の可能性について検討していきたい。

**問** 平田地域と松山地域の体育施設や天体観測館の廃止後、眺海の森周辺の振興についてどのようなプランを考えているのか伺う。

**答 市長** 眺海の森については、コロナ禍においてアウトドア志向が高まったこともあり来訪者の落ち込みが小さく、キャンプ場の利用者数は過去最高であった。また、県民の森としての環境が整備されており、森林に親しむ環境が整っている。さらに、雄大な景色を眺めることができるビュースポットでもあり、観光客や市民を引き付ける魅力を持ったエリアである。眺海の森の自然環境や景観を観光資源と捉え、関係団体や地域の方とともにPRに努め、連携して誘客を図っていきたい。

### 物価高騰対策の評価は

**問** 臨時国会で、物価高騰対策として一人当たり所得税を3万円、住民税を1万円定額減税し、住民税非課税世帯には7万円を支給することになった。そのため今回の追加補正で、住民税非課税世帯給付分が追加計上された。経済対策として1年間減税としたら消費税の方が所得税よりも2倍の経済効果があるなどの指摘がある。物価高騰対策の目玉とした減税と今回提案された給付に対する評価について所見を伺う。

**答 市長** 所得税、住民税の定額減税と低所得者への支援は、物価高騰から住民の暮らしを守ることに繋がるものであり一定の評価をしている。ただし、住民税の減収は全額国費で補填されるが、所得税の減収に伴う地方交付税の減収は今後検討されるため、補填されないとするれば、地方自治体の財政運営に大きな影響が生じる。住民税非課税世帯への給付を円滑かつ混乱なく実施していきたい。

**問** 年内に支給開始はできるか伺う。

**答 市長** 1月12日より対象者へ文書を順次発送し1月31日の支給開始を目指している。

## 常任委員会

12月12日に各常任委員会、20日に総務・民生常任委員会を開催し、議案24件と請願1件を審査しました。

### 総務

議第106号酒田市部設置条例の一部改正についてのほか、議第107号から議第109号、議第114号から議第122号までの議案13件を審査しました。

審査の結果、いずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

また、12月20日に追加提案された議第128号酒田市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正についてのほか、議第129号および議第131号の議案3件を審査しました。

審査の結果、いずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

### 民生

議第110号酒田市民健康保険条例の一部改正についてのほか、議第123号の議案2件を審査しました。

審査の結果、いずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。請願第4号については、賛否両論があり、起立採決の結果、不採択と決定しました。

また、12月20日に追加提案された議第130号酒田市手数料条例の一部改正について審査しました。

審査の結果、原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

### 建設経済

議第111号酒田市道路占用料徴収条例の一部改正についてのほか、議第112号、議第113号、議第124号および議第125号の議案5件を審査しました。

審査の結果、いずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

## 予算特別委員会

12月13日に議第103号令和5年度酒田市一般会計補正予算(第8号)のほか、議第104号および議第105号の議案3件を審査しました。

審査の結果、いずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

また、12月20日に追加提案された議第126号令和5年度酒田市一般会計補正予算(第9号)、議第127号の議案2件を審査しました。

審査の結果、いずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

## 反対討論

新政会

安藤 浩夫 議員

これまでにも同様の請願が出されており、労働者と経営者が相互理解のもと医療体制の構築について考えることが肝要と考える。医療機関では、看護職員の賃金引き上げや処遇改善評価料の新設を行っており、新型コロナウイルス感染症対策などの補助金や診療単価の増額、光熱費、物価高騰に対する支援も行われている。来年4月に行われる診療報酬改定については、さまざまな観点から議論されており、冷静にその推移を見守るべきと考え反対する。

請願第4号「医療機関・介護施設への支援の拡充と、患者・利用者の負担を軽減し診療報酬・介護報酬を大幅に引き上げるための意見書の提出についての請願」

## 賛成討論

共産党市議団

市原 栄子 議員

政府は看護師・介護職員を対象とした処遇改善支援補助金を実施し、また診療報酬と介護報酬の臨時改定を行っているが、本市の介護関連で働く方たちから、補助金によって給料が増えていない、その実感が無いとの声も出ている。自然災害や、新たな感染症などに備えるためにも、医療機関、介護施設へのさらなる経済的援助と現場に従事する労働者の処遇改善、併せて患者利用者負担の軽減策は喫緊の課題と考え賛成する。

## 令和5年第9回12月定例会 議決結果一覧

議案番号	件名	結果
議第103号	令和5年度酒田市一般会計補正予算(第8号)	可決
議第104号	令和5年度酒田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決
議第105号	令和5年度酒田市介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決
議第106号	酒田市部設置条例の一部改正について	可決
議第107号	酒田市眺海の森天体観測館設置管理条例の廃止について	可決
議第108号	酒田市体育施設設置管理条例の一部改正について	可決
議第109号	酒田市平田B&G海洋センター設置管理条例の一部改正について	可決
議第110号	酒田市国民健康保険税条例の一部改正について	可決
議第111号	酒田市道路占用料徴収条例の一部改正について	可決
議第112号	酒田市都市公園条例及び酒田市公園条例の一部改正について	可決
議第113号	酒田市手数料条例の一部改正について	可決
議第114号	財産の無償譲渡について	可決
議第115号	酒田市土門拳記念館及び酒田市美術館の指定管理者の指定について	可決
議第116号	請負契約の変更について(酒田市立平田小学校屋内運動場予防改修工事(建築工事))	可決
議第117号	請負契約の締結について(酒田市立南平田小学校給食室増築工事(建築工事))	可決
議第118号	請負契約の変更について(国体記念体育館大規模改修工事(建築工事))	可決
議第119号	請負契約の変更について(国体記念体育館大規模改修工事(電気設備工事))	可決
議第120号	請負契約の変更について(国体記念体育館大規模改修工事(機械設備工事))	可決
議第121号	酒田市光ヶ丘プールの指定管理者の指定について	可決
議第122号	酒田市松山スキー場及び眺海の森外山ロッジの指定管理者の指定について	可決
議第123号	地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構が達成すべき業務運営に関する目標を定めることについて	可決
議第124号	公有水面埋立地の用途変更の許可に係る意見について	可決
議第125号	湯の台温泉鳥海山荘、八森温泉ゆりんこ、鳥海高原家族旅行村及び八森自然公園内体育施設の指定管理者の指定について	可決
議第126号	令和5年度酒田市一般会計補正予算(第9号)	可決
議第127号	令和5年度酒田市介護保険特別会計補正予算(第4号)	可決
議第128号	酒田市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	可決
議第129号	酒田市会計年度任用職員の報酬、給与及び費用弁償に関する条例及び酒田市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決
議第130号	酒田市手数料条例の一部改正について	可決
議第131号	土地及び建物の取得について(史跡山居倉庫)	可決

## 12月定例会で審議された請願

請願	受理番号	件名	請願者	結果
	請願第4号	医療機関・介護施設への支援の拡充と、患者・利用者の負担を軽減し診療報酬・介護報酬を大幅に引き上げるための意見書の提出についての請願	山形県医療労働組合連合会 執行委員長 渡辺 勇仁	不採択

# 一 般

## 質 問

一般質問とは…

市政全般に関する状況や方針について質問し、報告や説明を求めたり、疑問を明らかにするもの。

12月18日から20日に計17人が質問を行いました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。



### タイムリミットが迫る ※1 HPVワクチンの キャッチアップ世代



遠田 敏子  
議員

**問** HPVワクチンの積極的勧奨が再開された。3年間の期間限定で定期接種と同条件、無料で接種ができる※2キャッチアップ世代のタイムリミットが令和7年3月である。未接種者全員に最終期限をお知らせする個別通知が重要と考えるが所見を伺う。

**答** **地域医療調整監** 対象者に対し、再度接種勧奨を実施する必要があると認識しており、これまで一度も接種をしていない方が、1回目から3回目までの接種間隔を確保した上で年度内に3回接種が完了できるように、接種時期などを伝えることが重要だと捉えている。令和6年4月初旬に対象者へ個別通知の送付を予定している。

**問** 令和6年の酒田市二十歳を祝う成人の集いにおいて、検診の案内とリーフレットを配布し、予防接種の啓発活動を行うなど集中的に取り組むべきと考えるが所見を伺う。

**答** **地域医療調整監** 令和6年5月に開催を予定している酒田市二十歳を祝う成人の集いの際には、リーフレットや案内、ティッシュペーパーなどを配布し、キャッチアップが最終年度であることも伝えていきたい。

### 他の質問

※3 ディスレクシアの児童  
に対する取り組み、認知症  
施策推進計画の策定



### 本市の環境保全型 農業(生物多様性) の推進



後藤 泉  
議員

**問** にかほ市で開催された鳥海山・飛鳥ジオパーク環境保全フォーラムでは、テーマ「農業から見た生物多様性」において、持続可能な農業の在り方として循環型、環境保全型農業の推進が紹介され、その重要性を再認識させられた。本市の現状と推進していく課題は何か伺う。

**答** **市長** 環境保全型農業は、本市でもその必要性が浸透しつつあり、環境保全型農業直接支払制度における取組団体数は、令和4年度は19団体で、鶴岡市に次いで県内2番目、取組面積は県内4番目となっており、増加傾向にある。課題としては、後継者や担い手の確保、当該交付金の交付に係る手続きが煩雑な点がある。

**問** 国は2050年までの有機農業の割合目標を25%としているが、本市でも高い目標を持つことが必要と考える。生物多様性を意識した保全型農業を増やしていくために、本市はどのように推進していくのか所見を伺う。

**答** **農林水産部長** スマートオーガニックシティに向けた取り組みを進め、みどりの食料システム戦略推進交付金も活用していきたい。

### 他の質問

森林環境譲与税の用途は



※1 HPVワクチン(子宮頸がんワクチン): 子宮頸がんをはじめとするヒトパピローマウイルス感染症の原因となるHPVの感染を予防するワクチン。

※2 キャッチアップ世代: 平成9年度～平成18年度生まれ

※3 ディスレクシア: 学習障害のひとつのタイプ。

## 若者の意見反映と チャレンジ支援を



大壁 洋平  
議員

**問** 若者の意見は政治や行政に届きにくい現状にあり、若者流出を防ぐためにも若者の意見をまちづくりを生かしていく必要がある。本市として若者の意見をどのように集めて反映していくのか所見を伺う。

**答 市長** オンラインによる若者カフェミーティング（仮称）を実施したり、ウェブアンケートやデジタル技術を活用した手法により若者の意見を把握し反映していきたい。

**問** 本市の未来を支える若者の地域課題の解決や地域活性化に資するプロジェクトに対する本市の支援について伺う。

**答 市長** 若者のチャレンジを資金面で支える仕組みとして、コミュニティファンドの創設を目指している。具体的には、一般財団法人を設立し、市民による地域課題の解決や地域活性化に資する取り組みを募り、必要な資金を助成する事業スキームを考えている。セミナーの開催など、市民の意識啓発と機運醸成を図り、チャレンジしたい若い世代の市民と寄附という形で応援したい市民の両者のコミュニティファンドへの参画を促していきたい。

### 他の質問

酒田駅前交流拠点施設ミラ  
イニの現状と課題



## 医療的ケア児への 成人移行後の支援



富樫 寛  
議員

**問** 「いつか離れなくてはいけない時がある。それまでにわが子の居場所を用意してあげたい」これは18歳になった医療的ケア児の母親の言葉である。生まれつき重い障害を抱え、生きていくために、痰の吸引や人工呼吸器などの医療的ケアが欠かせない医療的ケア児が、この15年間で2倍になり、2万人を超えた。18歳まで特別支援学校に通えるが、卒業すると行き場を失うケースが全国で相次いでいる。本市でも同様であり、他市に行かなくても地元でケアできる施設の拡充は急務ではないか。

**答 健康福祉部長** 成人移行後は、医療的ケアの状況に応じて、障害福祉サービスを利用し生活することとなる。しかし、通所系サービスにおいて受入可能な施設は不足しており、また、施設入所を希望されても、施設の定員の関係や、対応可能な職員がいらないなどの理由で受け入れを断られる事例もあり、本市の課題であると認識している。地域内の事業所と連携し、医療的ケアが必要な方に対応できる人材の育成を図り、受入可能な事業所を確保していく必要があると考えている。

### 他の質問

コンビニへのAEDの設置



## この難局を乗り 越える農業支援を 切望する



伊藤 欣哉  
議員

**問** 今夏の猛暑の影響によって、多くの農産物で収穫量の減少、品質低下の実態が明らかとなっている。特に米への影響は大きく、農協の集荷実績は、やはり不作年であった昨年比で93%程度、一等米比率も30%台と大きく低下した。また、肥料、燃油高騰は、引き続き経営を圧迫しており、規模の大きい手農業者ほどこれまでにないくらい厳しい状況に置かれている。農地集積を進め、さらなる農業振興を図る上で、この難局を乗り越えるための支援が必要と考えるが、所見を伺う。

**答 市長** 令和5年度は、肥料高騰対策の一環として、国の対策である化学肥料低減定着対策事業を実施し、この事業範囲を超える部分については、市の独自事業である国内肥料資源活用推進事業により支援を行っている。高温対策については、異常気象による被害の未然防止に向けた対策が必要であると考えており、酒田型土づくり特別対策事業として、土壌環境を改善するための土づくり資材の施用に対する支援を行っている。今後、J Aと情報交換しながら、異常気象への対応を進めていきたい。

### 他の質問

※アーバンベア防止対策の  
拡充、森林環境税などを活  
用した森林環境の適正化



※ アーバンベア：都市部に隣接する森林で暮らし、一時的に市街地に出没するクマ。

## 洋上風力発電の推進と酒田港の拠点港湾整備



後藤 仁  
議員

**問** 経済が活性化しなければ、地域は成り立たない。洋上風力発電事業は、一地域3000億円程度の経済効果があるとの話もある。秋田県は発電が始まり、新潟県も事業者が決定した。洋上風力発電と拠点港湾整備に向けて、県との連携を強化し、どのように推進するのか。



提供：秋田洋上風力発電

SEP船（作業船）と秋田基地港湾

**答** 市長 これまで酒田港を基地港湾とする機能強化が図られるよう県や国に対して、要望などを行ってきた。遊佐町沖の洋上風力発電事業を選定するための公募手続きについては、公募の開始時期や基地港湾の場所などがまだ公表されていないが、酒田港が基地港湾に指定された場合、運転開始は2033年頃と想定している。酒田市の洋上風力発電事業導入に向けた議論はこれから始まる。引き続き、地域の理解醸成と意見の取りまとめが図られるよう県と連携していきたい。

## 他の質問

平田健康福祉センター筋トレルームの存続は、体育施設のトイレの洋式化



## 国民健康保険税5年連続引き下げよ



斎藤 周  
議員

**問** 本市は、令和2年度から基金を活用して、4年連続で国民健康保険税を引き下げた。その結果、収納状況が改善された。例えば、令和4年度現年度の収納率は、滞納繰越分も含めると、85・14%と前年度比較で0・84%上昇し、県内主要6市比較では最高となった。そのもとで、令和4年度末の基金残高は24億4千万円と、前年度比較ではほぼ同レベルの額となっている。このことから、令和6年度も国民健康保険税の引き下げを実施するのか考えを伺う。

**答** 副市長 国民健康保険財政調整基金の残高が条例で定められている10億円を一定程度上回っていたことから、令和2年度から4年連続で国民健康保険税率を引き下げてきた。その結果、基金繰入金を除いた各年度の収支が令和3年度から赤字に転じており、令和5年度も赤字のため、基金から4億2千万円程度の繰り入れを行う予定で試算している。令和5年度末の基金残高は17億1千万円を見込んでおり、最終的には今後の予算編成の中で判断していくことになるが、現時点では令和6年度の税率は据え置きの方で考えている。

## 他の質問

ゴミ袋（青・緑・赤）の再資源化の考えは、食品ロス削減推進計画の策定は



## 「校内教育支援センター」とは



佐藤 弘  
議員

### 不登校児童生徒の校内居場所づくり

**問** 令和4年度の不登校児童生徒数は全国で約30万人。本市でも増加傾向にあるようだ。文部科学省の実態調査では、学校には来ることが、クラスに入れない児童生徒は、「不登校児童生徒の約半数（47%）」とのこと。自分のクラスに入りづらい児童生徒のために、校内で自分の学級以外の、自分にあったペースで学習・生活できる学びの場（文部科学省では校内教育支援センターと呼んでいる）の設置が進んでいるようだ。文部科学省は不登校児童生徒のため「校内教育支援センター」の設置を促進している。本市の取り組みを伺う。

**答** 教育長 文部科学省では、学校には行けるが自分のクラスに入れないときや、気持ちを落ち着かせたいときに利用できる学校の空き教室などを活用した部屋のことを校内教育支援センターと定義づけている。実質的には、これまで本市でも取り組んできている、いわゆる別室登校と呼んでいるもので、人的な配置などが非常に課題になってくると考える。

## 他の質問

東北公益文科大学公立化の本気度を問う



## 中山間地域から 拡大する熊、イノ シシ被害



後藤 啓  
議員

### 効果的な鳥獣被害対策

**問** マスコミで連日報道された熊、イノシシによる人的被害、農作物への被害は深刻な状況である。本市の畜産施設での熊によるエサ捕食の被害も多い。イノシシによる水田圃場への侵入、<sup>※1</sup>畦畔の掘り起こしも多数報告された。冬眠しない熊の活動も危惧される。鳥獣被害対策専門員配置の考えを伺う。

**答 市民部長** 今後の鳥獣被害の動向を注視し、その必要性を検討したい。

**問** 有害鳥獣捕獲許可期間延長の考えは。

**答 市民部長** 山形県第13次鳥獣保護管理事業計画で、ツキノワグマは、短期間で撤去することが望ましいと明記されており、期間の延長は考えていない。イノシシは、出没状況が他市町村と比較し非常に少ないため、設置期間の設定については検討したい。

**問** 実績のあった箱わなセンサーの数を増やす考えはないか。

**答 市民部長** 今年度の出没状況を踏まえ、対策の強化は必要であると考えており、効果検証を行った上で追加の検討をしたい。

### 他の質問

大規模畜産施設の電気柵設置への支援策



## 港湾におけるコンテナ 取扱量の推移と船舶 輸送への可能性



進藤 晃  
議員

**問** 国際定期コンテナ航路の就航は、平成27年の週7便をピークに、貨物取扱量は年々減少し、令和5年10月には、週2便と激減している。現状におけるコンテナ貨物取扱量の推移について伺う。

**答 市長** 主な輸出先である中国市場の情勢変化や新型コロナウイルス感染症の影響などにより、過去最多を更新した平成29年と比較すると、令和4年は約51%減少しており、現在も減少傾向が続いている。

**問** 物流の2024年問題やCO<sub>2</sub>排出削減の観点から<sup>※2</sup>モーダルシフトとして、コンテナ船による輸送が望まれる。コンテナ船利用は、定期的で安定した輸送からメリットも大きく、酒田港を利用したコンテナ船活用の可能性について伺う。

**答 市長** 本市としてもモーダルシフトの推進に取り組んでいきたいと考えている。また、コンテナ貨物については、官民一体となってその増加に取り組んでおり、令和5年度は国際物流総合展において、全国に向け酒田港のPRを行った。令和6年度も出展を検討している。

### 他の質問

持続可能な上下水道事業、庄内2市1町による水道事業広域化の進捗状況



## 多様性を尊重し合 えるまちづくり



市原 栄子  
議員

### 「アウティングの周知と条例づくりを」

**問** 性的マイノリティへの理解が深まる中、本人の了解を得ずに、勝手に第三者やに本人の性的指向や性自認を暴露する「アウティング」についての認識が低いとされている。「アウティングの禁止は、12都府県26自治体が条例で明記している。アウティングは重大な人権侵害にあたる。本市では、パートナーシップ宣誓制度を県内でもいち早く導入している。パートナーシップ宣言を行った方の人権を守るため、市民と若い方たちへの啓発も込めてアウティング禁止条例をつくることはできないか伺う。

**答 市長** 性的思考や性自認は非常に繊細で、最も大事な個人情報であり、アウティングは絶対にあってはならないと考える。一方で、男女共同参画に関する市民アンケート調査において、アウティングについて73%の市民が言葉も意味も知らないという結果であったため、まずはアウティングについての周知が必要だと考えている。周知に努めた後に条例制定について検討していきたい。

### 他の質問

水位監視システムの運用状況



※1 畦畔(けいはん): 田んぼの周りの盛り土、あぜ。

※2 モーダルシフト: トラックなどの自動車で行われている貨物輸送を環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へと変換すること。



## 酒田のラーメン 日本一に続く 戦略は



佐藤 伸二  
議員

**問** 酒田のラーメンが「日本ご当地ラーメン総選挙」で初代王者に輝いた。この快挙を実現できたのは「酒田のラーメンを考える会」の皆さんの努力はもちろんのこと市長をはじめ、市を挙げての応援の賜物と考える。この快挙を一過性のもので終わらせないために、市内飲食店情報の幅広い発信や観光に便利な交通手段の確保、地元産の米粉や孟宗竹など地場産品を生かした製品づくりなど、観光客に何度も本市に足を運んでもらえるような継続的な取り組みや仕組みが必要ではないか。当局の考えを問う。

**答 副市長** 食さんぼや夜さんぼといったマップを観光案内などに配置し飲食店のPRを行っており、また、観光における交通手段として利用されている「るるるんバス」については、特急いなほの発着時間を踏まえた運行としている。最近では、地元産の食材を使用したラーメンも出てきており、今後はラーメンウィークの実施や、まちあるきの中でラーメンを楽しむことができる環境をPRすることにより、日本一ということをお忘れられないよう取り組みを進めていきたい。

### 他の質問

表題以外の質問は  
ありません



## 関西圏からの観光客 誘致の取り組みと 庄内大坂便の復活を



市村 浩一  
議員

**問** 交流人口の拡大によるさらなる外貨獲得に向けて、歴史からいっても北前船での交流もあつた関西圏からの観光客誘致は必須だと考える。今は、インバウンドにおいても関西国際空港の旅客数が伸びており、関西圏のインバウンド誘客も大いに期待できると思う。現在の関西圏に対する観光誘客への取り組みと課題は何か。

**答 市長** インバウンドの訪問先で、東北六県が占める割合は非常に低く、知名度の低さが最大の課題であると認識している。関係機関を通じた情報発信に取り組んでいきたい。

**問** 庄内―大阪（伊丹空港）線が廃止となつた当時とは観光環境も変わっている。庄内大坂便の必要性について考えを伺う。

**答 市長** 庄内―大阪間は、羽田空港での乗り継ぎで4時間程度で移動でき、運賃も3万円台である。利便性の高さなどの情報を旅行者に効果的に伝え、利用を促した上で、庄内空港と関西圏の空路の整備に取り組んでいきたい。また、庄内地方重要事業要望などにより関係機関に対し継続して働きかけていきたい。

### 他の質問

来年に向けた「酒田の花火」  
事業計画の進捗状況は



## 障害を抱える人や 家族が安心して 暮らせるまちを



武田 恵子  
議員

**問** 障害を抱えている人がいる親御さんは、「今はまだ元氣だから自分たち2人でみていくが、どちらか1人が欠けてしまったら、もたない。自分たちが面倒を見られなくなったときに、入所できる施設があるだろうか。」という不安を常に抱えている。本市が取り組もうとしている重層的支援体制の構築と地域生活支援拠点等の整備で、親御さんが「世話になれる施設が決まって安心だ。」と思つて暮らせるまちをつくるのが求められている。そのようになっているのか。

**答 健康福祉部長** 本市には緊急時の受入施設、短期入所施設が少なく、本市の多くの方が遊佐町の施設を利用して状況も踏まえ、支援体制を遊佐町、三川町との1市2町の枠組みで面的整備型で整備する選択をした。緊急事案について関係者が連携して対応できるように地域生活支援拠点等の整備を進め、利用者、受入施設の双方より事前の登録をさせていただきたいと考えている。施設への入所相談についても随時受け付けており、関係機関と連携し、地域全体で支える体制にしていきたいと考えている。

### 他の質問

表題以外の質問は  
ありません



## 自転車ヘルメット 着用に向けての 取り組みは



齋藤 美昭  
議員

**問** 2023年4月から、改正道路交通法の施行により、全ての自転車利用者のヘルメット着用が「努力義務」となった。警察庁の実態調査によれば、本県の着用率は「8・9%」、全国平均の13・5%を下回り、全国25番目。本市の着用率も決して高いとはいえない。そして、12月上旬に中学生の自転車事故の報道もあった。そこで、本市として現状をどのように捉えているか。

**答 副市長** 山形県警察が令和5年10月に県内主要5都市で調査した自転車利用者のヘルメット着用率の結果によると、本市の着用率は5・5%であり、全国平均を下まわっている状況である。交通安全教室やリーフレットの配布、街頭指導などを行ってきたが着用率は低い水準にあると言わざるを得ない。

**問** 市民が安全で安心して暮らせる酒田を目指す本市の考え方、取り組みについて伺う。

**答 副市長** 習慣のなかったヘルメットの着用率をどう高めるかは課題であり、着用を敬遠される方に対してカジュアルなヘルメットを紹介するなど、工夫しながら地道に啓発活動を継続していきたい。

### 他の質問

バス、タクシーなどの  
運転手不足の課題



## 公営住宅の現状と 今後の考えは



齋藤 直  
議員

**問** 公営住宅を取り巻く環境は、高度成長期の大量供給時代を経て、少子高齢化の進行とともに人口減少時代を迎え、本市でも人口減少の推移を見ながら建物の築年数や修繕などを踏まえて今後はさらに適正な管理に努める必要があるが、入居者の現状を伺う。

**答 建設部長** 現在管理している780戸のうち、入居戸数は502戸、60歳以上のみの世帯は240戸で全体の47・8%である。総入居者数944人中、60歳以上の高齢者は386人で全体の40・9%という状況である。  
**問** 入居者の高齢化率も上がってきて、今後は低層階の公営住宅も必要になると考える。今年度で酒田市公営住宅長寿命化計画が終了するが、どのようなスタンスで公営住宅のサービス・修繕・管理を図っていくのか伺う。

**答 建設部長** 需要が増加している高齢世帯、高齢単身者用住宅については、当面は、低層階にある空き室を中心に修繕し、募集住宅を確保していきたい。市営住宅の修繕管理については、アセットマネジメントに基づいた大規模修繕により効率的な運用を図り、良質な市営住宅を供給できるよう努めたい。

### 他の質問

公営住宅の周辺整備と  
跡地利用



## みんな楽しみ！ 夏の大会イベント 花火大会の成功を



松本 国博  
議員

**問** 令和5年の酒田の花火事業は、収支不足が発生し、不足分を市が負担する結果となった。全国では資金難のため中止に追い込まれた花火大会が25件あり、物価高や警備強化による経費増加に加え、行政の補助金や民間からの協賛金などの減少が理由とのこと。本市からの拠出金がある以上、無料でも市民が楽しめること、有料席ではさらに快適に鑑賞できるように大会を持続するためのコンセプトや新たな組織体制について伺う。

**答 副市長** 市民の花火大会であることを前提に幅広い年代の市民に楽しんでいただくこと、観光客を呼べる花火のプログラムを計画すること、地元企業と連携した大会運営を行う地域へ経済的還元を図ることを大きな柱として設定したい。無料観覧エリアを拡大し有料観覧エリアについては安心して来場いただける環境を整えたい。また、市長を実行委員長、商工会議所会頭を副実行委員長とするこ

とで経済界と市が一体となり、市主体の事務局体制により、規律ある意思決定、責任の所在の明確化を図り、運営についても、市と経済界が協力して進めていきたい。

### 他の質問

職員数適正化方針での人員  
数削減のデメリットに対応  
する業務改善や体制整備



## 議会改革推進特別委員会

令和5年第8回11月臨時会において、議会改革推進特別委員会が設置されました。議会基本条例に基づき、さらなる議会改革と議会活性化について調査研究および、提言をすることを目的としています。

設置期間は、令和7年9月30日まで。具体的には、通年議会の運用に関する事項、政策提言の検証に関する事項、その他議会改革に関する事項について調査研究を行います。

## Diary 議会活動日誌

### 12月

7日	12月定例会（～20日） 本会議 全議員勉強会 議会運営委員会	建設経済常任委員勉強会 議会報編集委員会
11日	本会議	18日 本会議 議会運営委員会
12日	各常任委員会 民生常任委員勉強会 議会改革推進特別委員会	19日 本会議 議会改革推進特別委員会
13日	予算特別委員会 議会運営委員会	20日 本会議 総務・民生常任委員協議会 総務・民生常任委員会 予算特別委員会
15日	本会議 総務・民生常任委員協議会	議会運営委員会

## 議員連盟の役員改選

12月15日に各議員連盟などの臨時総会を開催し、役員の変更を行いました。

### 国際交流友好促進酒田市議員連盟

姉妹都市や友好都市をはじめとする世界の国や地域との友好と都市間交流を促進することを目的とするものです。

会長	佐藤 猛
副会長	池田 博夫
事務局長	田中 廣

### 酒田市私学振興議員連盟

私立幼稚園を含む私立学校の振興を図り、本市の教育振興および教育環境の整備発展に寄与することを目的とするものです。

代表世話人	佐藤 猛
事務局長	武田 恵子

### 酒田市のスポーツを応援する会

本市在住、本市出身もしくは本市にゆかりのあるスポーツ選手または本市に拠点を置くチームなどを応援することおよび議員自らスポーツを楽しむことにより本市スポーツの振興に寄与することを目的とするものです。

代表世話人	佐藤 猛
事務局長	齋藤 美昭

## 令和5年の一般質問から

～住民の代表として市政の監視と政策立案機能を発揮～

一般質問のテーマ	質問回数
教育関連(小中一貫教育、部活動の地域移行、不登校児童生徒など)	16(8)
子育て関連(保育園、育休、家事支援など)	12(7)
福祉関連(重層的支援体制整備事業、医療的ケア児など)	8(7)
農業(猛暑の影響、スマートオーガニックシティなど)	8(5)
観光振興	7(5)
防災	7(5)
公共施設(文化・スポーツ施設含む)	6(5)

※項目は、実際の発言内容で分類しているため、通告と異なる場合があります。

※質問回数は延べ人数、( )は実人数です。

令和5年は議員延べ62人が136項目にわたって一般質問を行いました。中でも教育関連の質問が多く行われ、次いで多かった子育て関連の質問では保育施設運営や児童保育所、屋内児童遊戯施設に関する事、そのほかにも市への指摘や提案がさまざまな視点から行われました。

住民の意見を代表し、市政にたぐ一般質問。皆さんもこうした視点から傍聴してみてもいかがでしょうか。

# 令和5年 酒田市議会の主な活動状況

## ◎議会の開催状況と審議件数など

	会期日数	本会議		議案件数			請願	代表質疑	一般質問
		日数	出席率	市長提出	議員提出	その他			
1月臨時会	1日	1日	100.0%	1件	0件	0件	－	0人	－
3月定例会	24日	7日	100.0%	42件	0件	4件	1件	7人	15人
4月臨時会	1日	1日	95.7%	8件	0件	0件	－	0人	－
6月定例会	14日	5日	100.0%	11件	1件	1件	1件	0人	14人
7月臨時会	1日	1日	100.0%	4件	0件	0件	－	0人	－
9月臨時会	1日	1日	100.0%	4件	0件	0件	－	0人	－
9月定例会	25日	6日	100.0%	63件	7件	5件	1件	6人	16人
11月臨時会	3日	2日	100.0%	1件	1件	7件	－	0人	－
12月定例会	14日	6日	99.3%	29件	0件	0件	1件	2人	17人
合計	84日	30日	99.7%	163件	9件	17件	4件	15人	62人

## ◎委員会の開催状況と審査件数

	委員会		協議会
	開催日数	審査件数	開催日数
総務常任委員会	9日	32件(0)	15日
民生常任委員会	8日	14件(3)	12日
建設経済常任委員会	7日	16件(1)	11日
予算特別委員会	15日	40件	－
決算特別委員会	4日	9件	－
合計	43日	111件	38日

※( )内は請願審査分で内数

## ◎議会運営委員会等の開催状況

	開催日数
議会運営委員会	33日
議会報編集委員会	13日
議会改革推進特別委員会	11日
委員長会議	3日
全員協議会	2日

◎本会議傍聴者数 **152人**(令和4年:124人)

◎行政視察来庁者数 **9団体・35人**  
(令和4年:12団体・95人)

### 来庁者の主な視察内容

- ・日本一女性が働きやすいまち宣言について
- ・酒田駅前交流拠点施設「ミライニ」について
- ・酒田市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例について

# 議会改革

## 通年議会について

通年議会を導入することにより、執行部が議会閉会中に重要議案を専決処分することがなくなり、議会で十分な審議を行うことが可能となります。また、災害などの突発的な案件への迅速な対応ができるようになり、常任委員会の活動の活発化も期待されます。

通年議会については、令和6年4月から導入する予定としており、令和5年11月22日に設置された議会改革推進特別委員会で具体的な運用方法の検討を行っています。

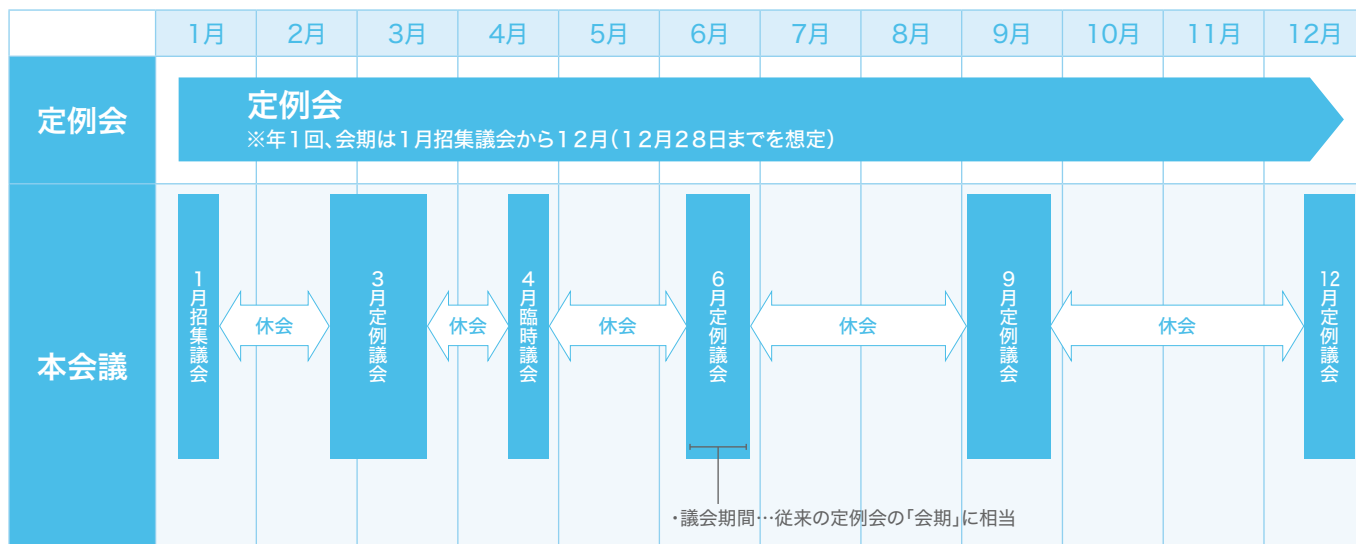
検討すべき事項としては、通年議会で開催される会議の名称や開催方法を新たに会議規則に規定するなど関係例規の一部改正があり、特別委員会において素案をとりまとめるところです。

関係例規の一部改正(案)の概要、通年議会のイメージ(案)については、令和5年12月27日から令和6年1月25日までの30日間パブリックコメント(意見公募)を実施しました。寄せられた意見に対する市議会の考え方については、整理した上で、市ホームページで公表する予定としています。

関係例規の一部改正(案)の概要については、市ホームページでご覧いただけます。



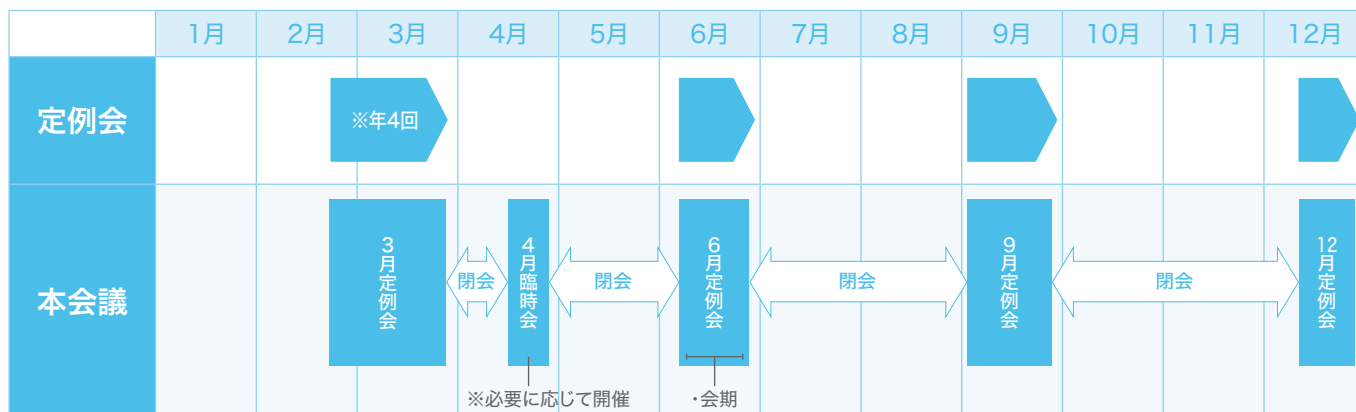
## 酒田市議会 通年議会のイメージ(案)



### 通年議会導入によるメリット

- ・閉会中の専決処分がなくなる。
- ・緊急の案件に迅速に対応できる。
- ・常任委員会活動が充実する。
- ・招集議会…市長の招集により定例会を開催するために開く会議(会期の決定を行う)
- ・定例議会…定期的に関会議をいい、3月、6月、9月および12月に開く
- ・臨時議会…臨時に関会議(必要に応じて開催)

## 酒田市議会 従来の定例会・臨時会



# スポット

スポットでは、酒田市議会からのお知らせを掲載しています。

**酒田市議会を傍聴してみませんか。原則どなたでも傍聴できます。**

## 受付方法

### ●本会議、予算特別委員会

市役所3階議場の傍聴席入口前にある受付カードに住所・氏名を記入の上、受付箱に入れ、傍聴席に入場ください。

※団体で傍聴を希望する場合は、事前に議会事務局へ問い合わせてください。

### ●各常任委員会

市役所3階議会事務局で開会予定時刻の30分前から受付を行います。各委員会の傍聴定員は5名です。定員を超えた場合は、抽選などにより傍聴者を決定します。



12月定例会中の傍聴者数  
個人9名、団体3 計48名

## 次回定例会のお知らせ（予定）

- 会期日程 ..... 2月21日～3月15日
- 代表質疑 ..... 2月21日、2月29日
- 常任委員会 ..... 2月22日、3月1日
- 予算特別委員会  
..... 2月22日、3月4日～7日
- 一般質問 ..... 3月12日～15日

※詳しい日程は、2月15日に開催予定の議会運営委員会で決まります。

3月定例会 請願締切 **2月14日(予定)**

## 表紙写真説明

### 飛澤神社 奴振り(飛澤神社例大祭)

●日時:毎年5月1日 ●場所:酒田市観音寺地区内

飛澤神社は、平安時代貞観13年(871)の鳥海山噴火を鎮め奉るために天降堂を創建したことが始まりとされています。毎年5月1日に例祭が行われ、その中で奴振りによる「門ぶり」や行列が行われます。例祭、奴振りの起源については正確に記録されていませんが、少なくとも100年以上続いているものです。



地図

編集  
後記

議会報編集委員会の改選があり、委員長を担うこととなりました。市民の皆さまに、より分かりやすく、かつ有益な情報を提供することを使命とし、まちや議会に対する興味を持っていただけるように、熱意をもって取り組んでまいります。また、議会だよりの目的や在り方についても、改めて検討すべき時期が来ています。市民の声を大切にし、より良いコミュニケーションを築くために、ご意見やご提案をお寄せいただければ幸いです。議会だよりを通じて、地域社会の発展に寄与していく覚悟であります。どうぞご期待ください。

議会報編集委員会  
委員長 大壁 洋平

## さかた市議会だより

発行/酒田市議会 議長/佐藤 猛  
酒田市本町二丁目2番45号  
電話 (26)5770 FAX (26)5790 e-mail:gikai@city.sakata.lg.jp

詳しい議会日程や酒田市議会の様子はスマホからもご覧いただけます。



※市議会だよりに対するご意見・ご質問などがありましたら、お気軽にお寄せください。